



# 株式会社C&Gシステムズ 2010年12月期 決算説明会

2011年2月24日  
代表取締役社長 山口 修司  
(JASDAQ 6633)

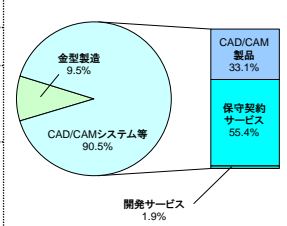


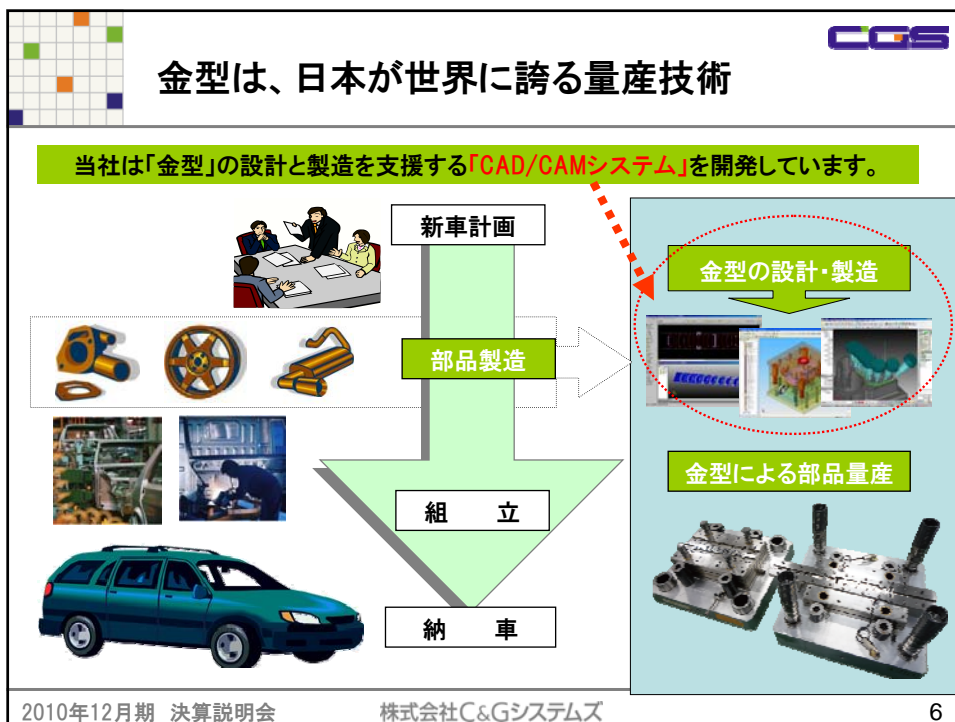
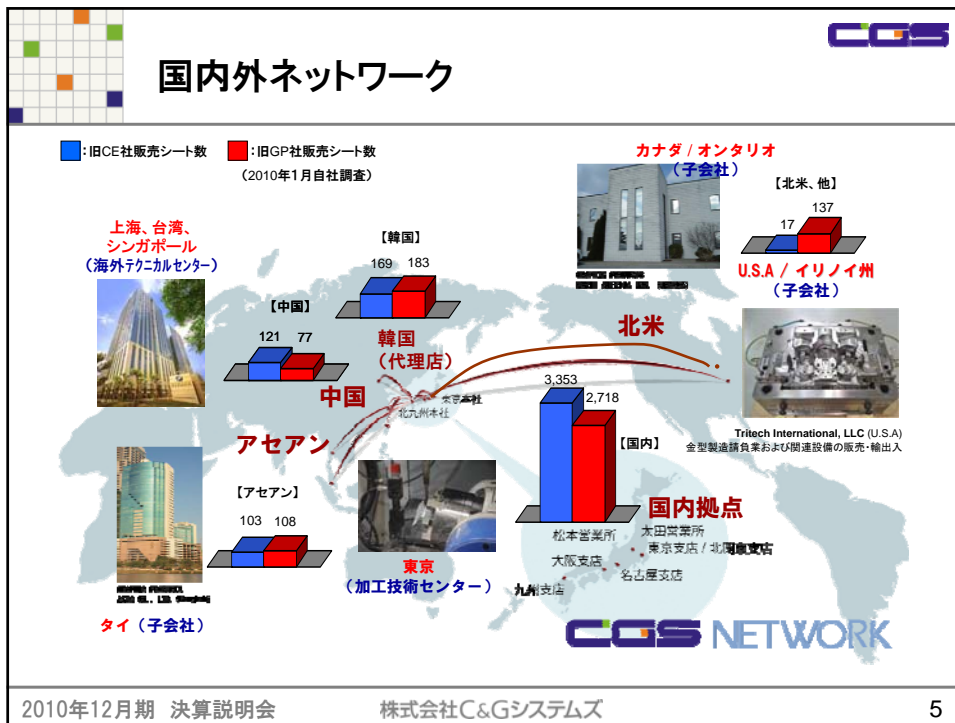
## 目次

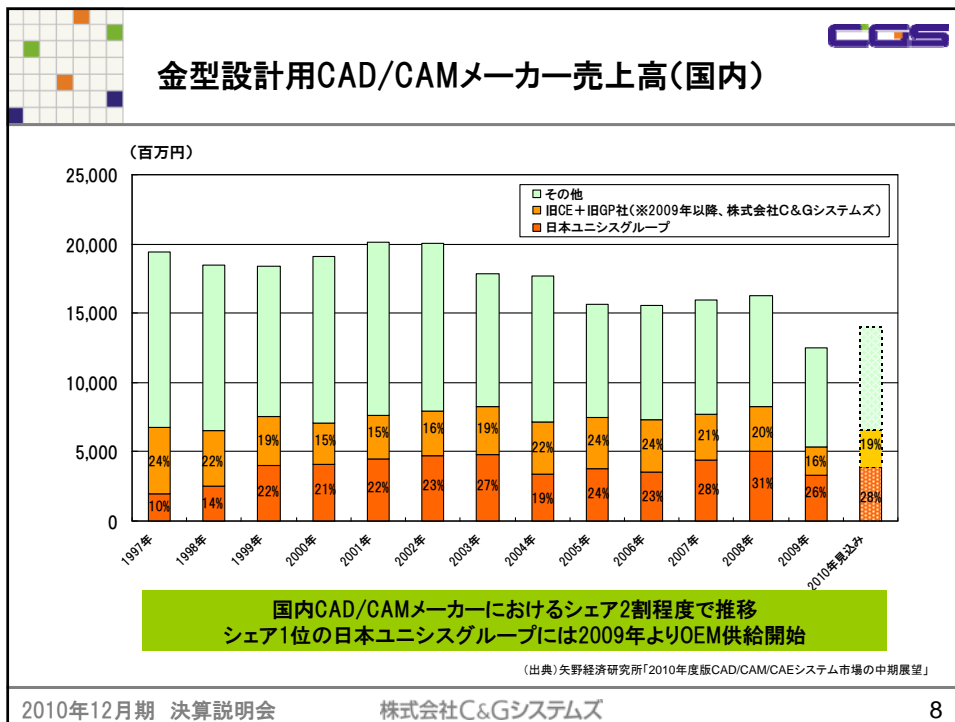
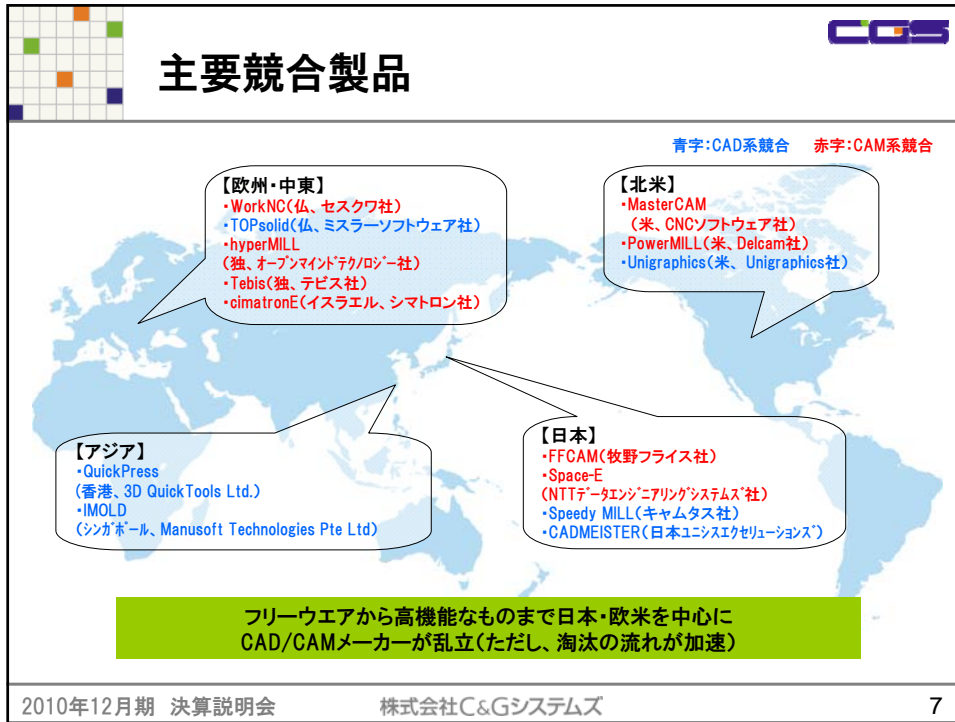
1. グループ概要及びマーケット概況	3
2. 2010年12月期 実績	16
3. 2011年12月期 見通し	24
4. 配当および株価について	40

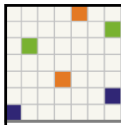
# 1. グループ概要及び マーケット概況

## 会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(JASDAQ 6633)													
事業内容	金型用CAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート													
親会社	株式会社アーク(東証1部/JASDAQ 7873)													
代表者	代表取締役社長 山口 修司													
沿革	1978年11月	コンピュータエンジニアリング社(CE社)設立												
	1981年2月	グラフィックプロダクツ社(GP社)設立												
	1997年6月	グラフィックプロダクツ社がJASDAQ上場												
	2007年7月	CE社およびGP社が経営統合、 アルファホールディングス株式会社設立、 JASDAQ上場												
	2010年1月	アルファホールディングス株式会社が CE社およびGP社を吸収合併、 商号を「株式会社C&Gシステムズ」に変更												
		<p>売上構成(2010年12月期)</p>  <table border="1"> <caption>売上構成(2010年12月期)</caption> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>CAD/CAMシステム等</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>金型製造</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>開発サービス</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>CAD/CAM製品</td> <td>33.1%</td> </tr> <tr> <td>保守契約サービス</td> <td>55.4%</td> </tr> </table>	項目	割合	CAD/CAMシステム等	90.5%	金型製造	9.5%	開発サービス	1.9%	CAD/CAM製品	33.1%	保守契約サービス	55.4%
項目	割合													
CAD/CAMシステム等	90.5%													
金型製造	9.5%													
開発サービス	1.9%													
CAD/CAM製品	33.1%													
保守契約サービス	55.4%													







## 当社の強み

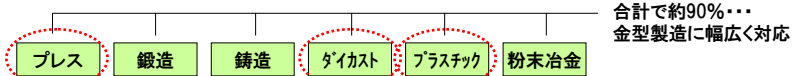


### 1. 金型分野に幅広く対応

#### ①2次元・3次元の両方に対応

- 2次元CAD/CAM: ユーザが慣れ親しんでいる図面設計感覚で描画が可能
- 3次元CAD/CAM: 複雑な曲面の設計、関連システムへのデータ展開が可能

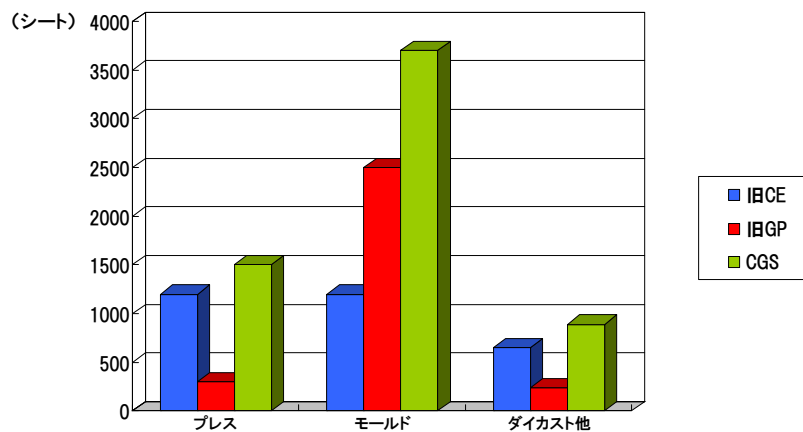
#### ②対応領域(機械統計「国内金型生産額」の分類による)



#### ③型の大きさ... 大小さまざまな大きさの型に対応



## 金型業種別実績



2010年1月自社調査

**CGS**

## 当社の強み

2. 7,000事業所を超えるユーザ数

- 国内外で約7,000事業所の企業に当社のシステムが導入

買い替え需要喚起による新システム販売が可能
保守契約により安定した収益を確保

2010年12月期 決算説明会 株式会社C&Gシステムズ 11

**CGS**

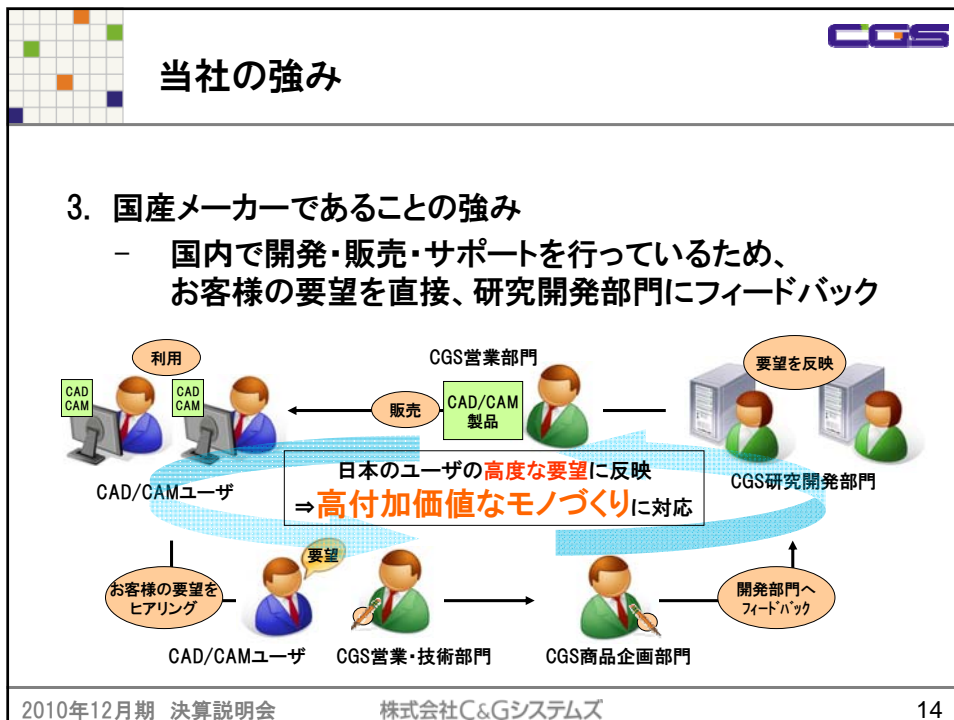
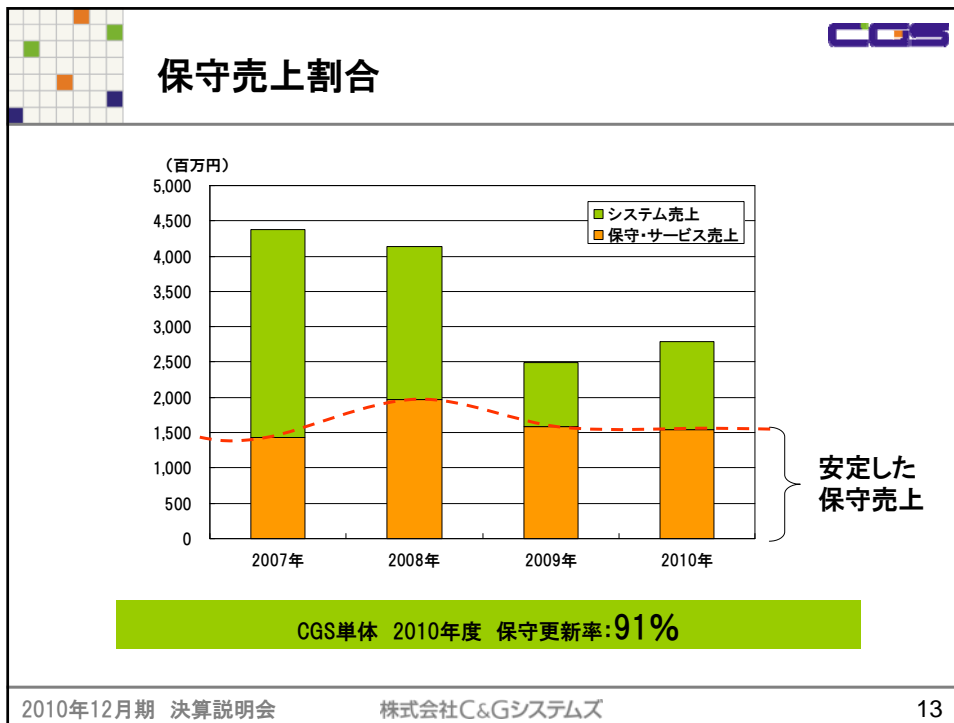
## 売上構成

**売上高**

- システム販売**
  - 新規顧客
  - 既存ユーザ
  - CAD/CAMパッケージ**
    - 既存CAD/CAM
    - アドインCAD/CAM
    - オリジナルCAD/CAM
  - 新規事業**
    - OEM
    - 受託開発
    - 試作市場
- 保守売上**
  - 既存ユーザ
  - …安定した収益

国内 海外

2010年12月期 決算説明会 株式会社C&Gシステムズ 12



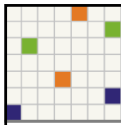
## 親会社について

商号	株式会社アーク(東証一部/JQ 7873)
代表者	代表取締役会長兼社長 荒木 壽一
業務内容	設計・試作から金型の供給まで、 新製品開発に関するトータルサービス
当社の持株比率	40.5%
背景	2006年5月 アークによる旧GP社株式の公開買い付け 2006年6月 TOB成立、旧GP社がアークの連結子会社へ・・・以後、現在に至る

### 親会社その他グループ会社との協力体制



## 2. 2010年12月期 実績



## 2010年度 決算概要



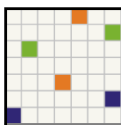
**売上高 27億92百万円 営業損失 74百万円**

### (市況)

- 企業の設備投資意欲は回復基調にあるものの、国内金型生産額累計は2008年と同額程度の低水準で推移、金型関連企業の設備投資は限定的

### (当社の状況)

- 市況の回復の影響より、2009年と比較し売上高はCAM製品が190%の回復を見せ、12%増加。
- 東日本地域での販売が年間を通して低調に推移
- 経営合理化により、販管費を前年と比較し4億84百万円(20%)削減、営業損失は大幅に縮小



## 連結決算要約(前年同期比)



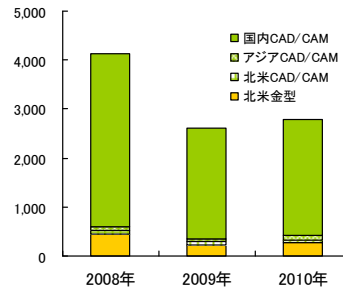
(単位:百万円)

科目	2009年 決算 【実績】	2010年 決算 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,488	2,792	+303	+12.2%
売上原価	715	939	+223	+31.2%
販管費	2,412	1,927	△484	△20.1%
営業損失	△639	△74	+564	—
経常損失	△601	△64	+536	—
純損失	△1,248	△92	+1,155	—

売上原価増:売上原価および費用の計上区分の変更によるもの

## 連結セグメント売上(会社 所在地別)

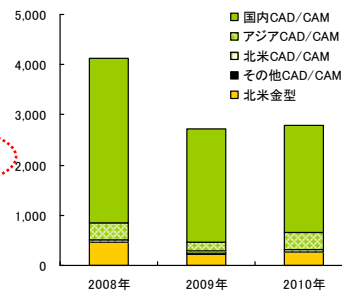
売上高 (単位:百万円)	2009年 決算 【実績】	2010年 決算 【実績】	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
CAD/CAM製品	2,258	2,526	+267	+11.9%
国内	2,127	2,362	+234	+11.0%
北米	59	50	△8	△14.9%
アジア	71	113	+41	+58.6%
金型製造	230	266	+36	+15.7%
北米	230	266	+36	+15.7%
合計	2,488	2,792		



アジア子会社でのCAD/CAM販売が好調。  
下期、タイの自動車関連生産需要が旺盛だったことに加え大型案件を受注したことが増加要因。

## 連結セグメント売上(仕向地別)

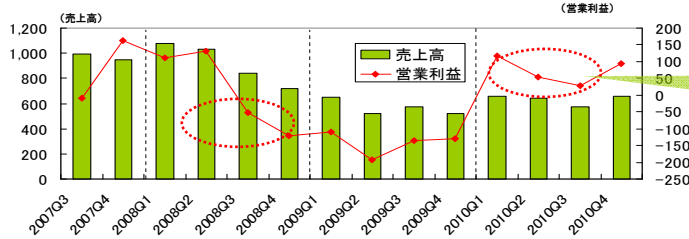
売上高 (単位:百万円)	2009年 決算 【実績】	2010年 決算 【実績】	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
CAD/CAM製品	2,258	2,526	+267	+11.9%
国内	2,029	2,143	+113	+5.6%
北米	60	51	△8	△14.5%
アジア	167	330	+162	+96.9%
その他	1	0	△0	△8.4%
金型製造	230	266	+36	+15.7%
北米	230	266	+36	+15.7%
合計	2,488	2,792		



前年同期比でアジア売上がほぼ倍増。海外での販売の伸びが顕著

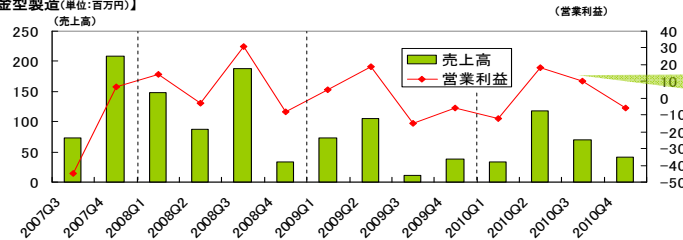
## 連結セグメント営業利益

【CAD/CAM製品(単位:百万円)】 ※2010年:持株会社から事業会社へ移行したことにより全社部門集計範囲を変更



2008年と比較し  
固定費を大幅に削減

【金型製造(単位:百万円)】



売上と利益率の  
増減が連動  
一定の利益を確保

## 連結貸借対照表

【2009年12月末日】

現金 17億82百万円	有利子負債 8億51百万円
その他流動資産 13億97百万円	その他流動負債 9億60百万円
固定資産 12億70百万円	その他固定負債 4億78百万円
	純資産 21億60百万円

資産合計/負債純資産合計 44億50百万円

自己資本比率 47.9%

【2010年12月末日】

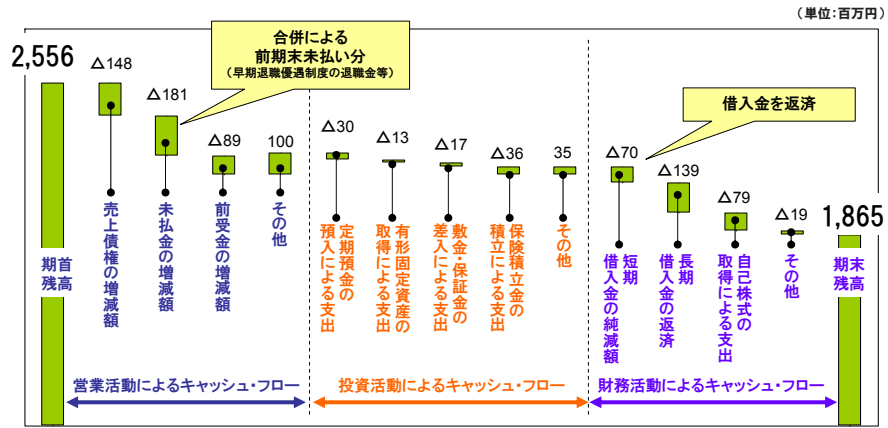
現金及び預金 10億87百万円	有利子負債 6億41百万円
その他流動資産 14億86百万円	その他流動負債 6億65百万円
固定資産 12億67百万円	その他固定負債 5億50百万円
	純資産 19億83百万円

資産合計/負債純資産合計 38億41百万円

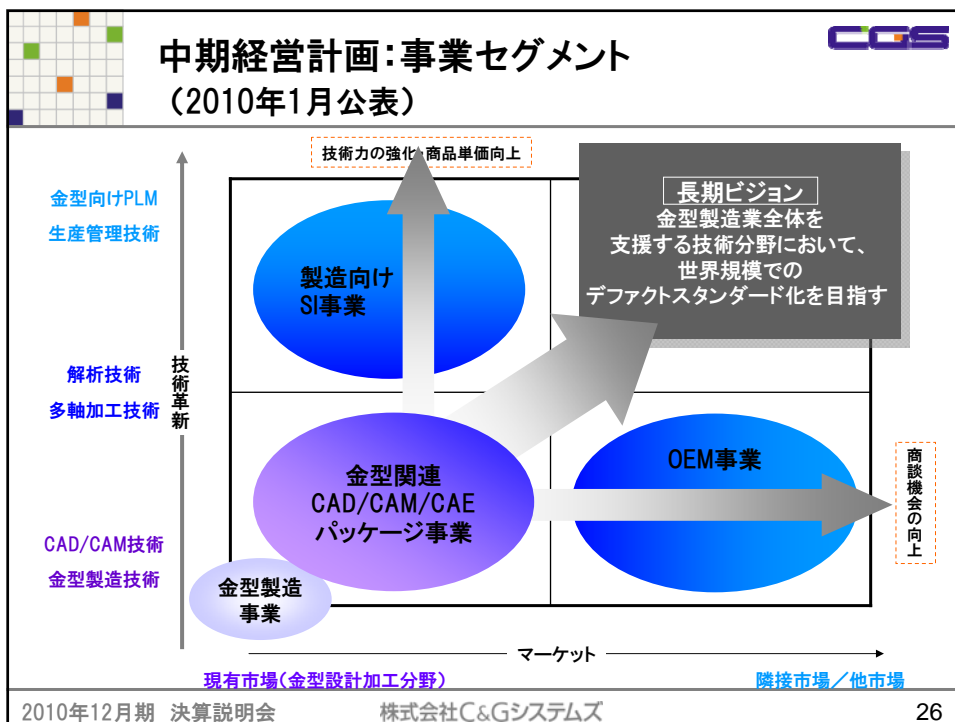
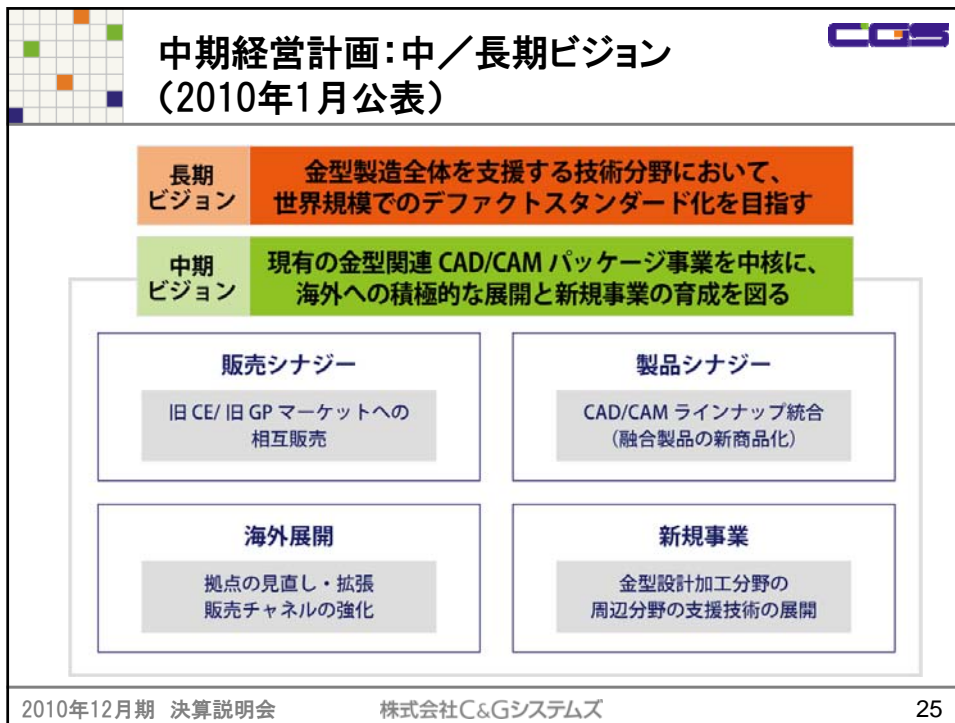
自己資本比率 50.8%

有利子負債は24%減、自己資本比率は50.8%に改善

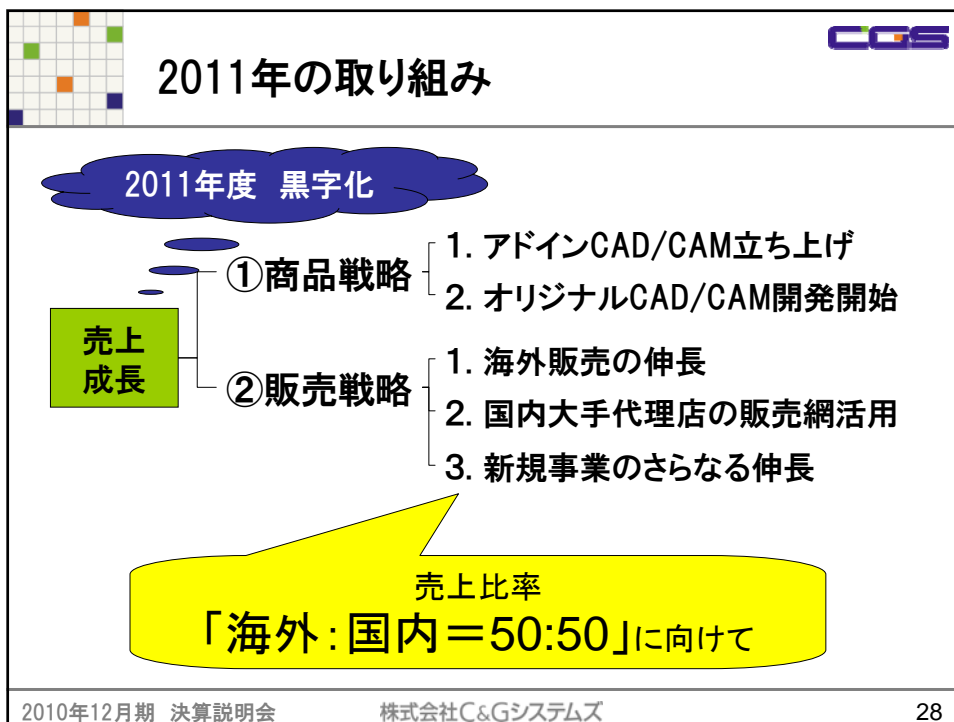
# 連結キャッシュ・フロー計算書



## 3. 2011年12月期 見通し



中期ビジョンの進捗	
<b>製品シナジー</b>	
統合商品の開発	⇒初の統合商品となる「CGシリーズ」を2011年3月末より発売開始
<b>海外展開</b>	
今ある海外拠点の見直し	2010年度においては既存拠点の活用のみ
海外CADメーカーのチャンネル活用	SolidWorks販売代理店の活用準備 ⇒2011年より活動本格化
<b>販売シナジー</b>	
製品の相互販売	旧CEユーザーにGP製品販売／旧GPユーザーにCE製品を販売・・・ 全体売上に対して金額ベースで2%、件数ベースで6%と進まず ⇒相互の商品に対する知識・技術力が十分でないのが一因 ⇒ただし、新規ユーザー獲得割合が増加
<b>新規事業</b>	
高付加価値なCAD/CAM技術による受託開発	既存パッケージ商品のカスタマイズ件数が急増 ⇒迅速にカスタマイズに対応できるCAD/CAMシステムの開発検討
現有CAD/CAM技術の周辺分野への展開	工作機械メーカー、工具メーカーとの連携および 他業界向けのシステム開発は順調に進む
2010年12月期 決算説明会	株式会社C&Gシステムズ
	27

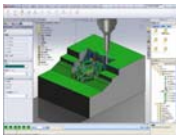



**CGS**


## 2011年の取り組み ①商品戦略

### 1. アドインCAD/CAMの立ち上げ「CGシリーズ」

- ・合併後初の統合CAD/CAM商品
- ・世界でもトップクラスの販売本数を誇る「SolidWorks」にアドイン、設計から加工まで一貫した操作性
- ・海外販売を視野に入れ機能を大幅に簡素化
- ・将来的には・・・「マルチベンダー」展開

CG CAM-TOOL      CG Process Design



応用

CG SERIES  
for A社CAD

応用

CG SERIES  
for B社CAD

応用

CG SERIES  
for C社CAD

他社  
CADソフトウェア  
への展開

2010年12月期 決算説明会      株式会社C&Gシステムズ      29

**CGS**

## 2011年の取り組み①商品戦略

### 2. オリジナルCAD/CAMの開発開始

合併により  
類似した商品が  
ラインナップ

商品ごとに  
操作性が異なり  
覚えづらい

商品ごとに  
構造が異なり  
カスタマイズしづらい

**フレームワークを統一したオリジナルCAD/CAMの開発を開始**

開発工数を  
効率化

一貫した操作性で  
使いやすい・  
教えやすい

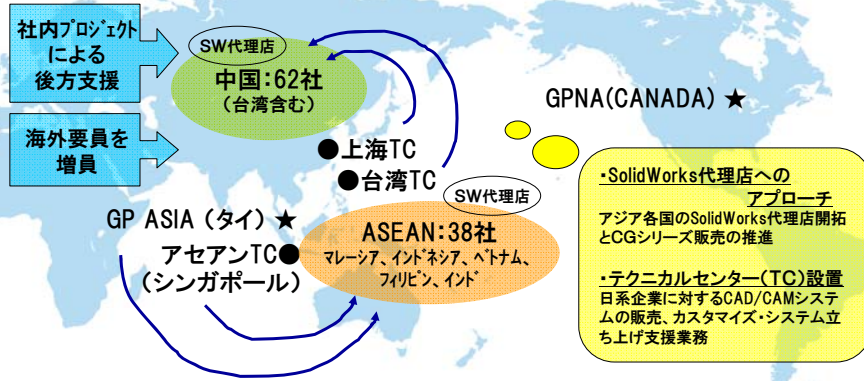
技術員による  
カスタマイズが可能  
顧客ニーズに  
迅速に対応

2010年12月期 決算説明会      株式会社C&Gシステムズ      30

## 2011年の取り組み②販売戦略

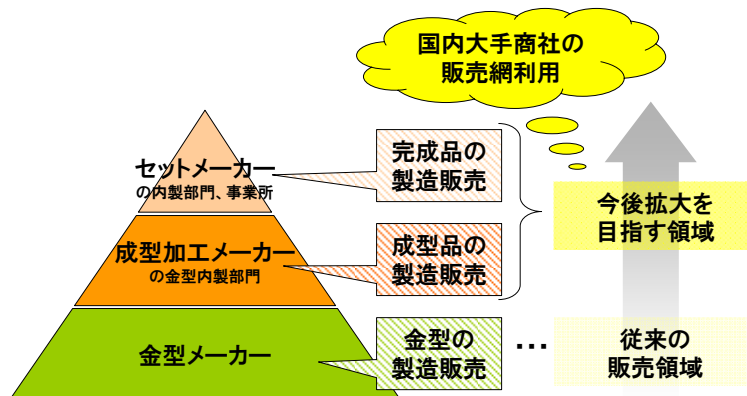
### 1. 海外販売の伸長

●:テクニカルセンター ★:海外子会社



## 2011年の取り組み②販売戦略

### 2. 国内大手商社の販売網を活用し販路拡大



## 2011年の取り組み②販売戦略

## 3. 新規事業のさらなる伸長

## 新規事業

現有リソースの  
市場および  
技術への  
縦横展開

## OEM

• 工作機メーカー、その他金型以外の業種に対しCAMのOEMを実現した2010年度までの案件を継続すると共に、新たなOEM先を発掘

## 受託開発

• 金型製造現場のIT化ソリューション、画像検査システム等の開発継続  
• 新たな受託案件の開拓および既開発テーマの横展開

## 試作市場

• 切削系RP、積層系RPといった試作市場をターゲットとしたトータルソリューション展開

※RP:ラビッドプロトタイピングの略

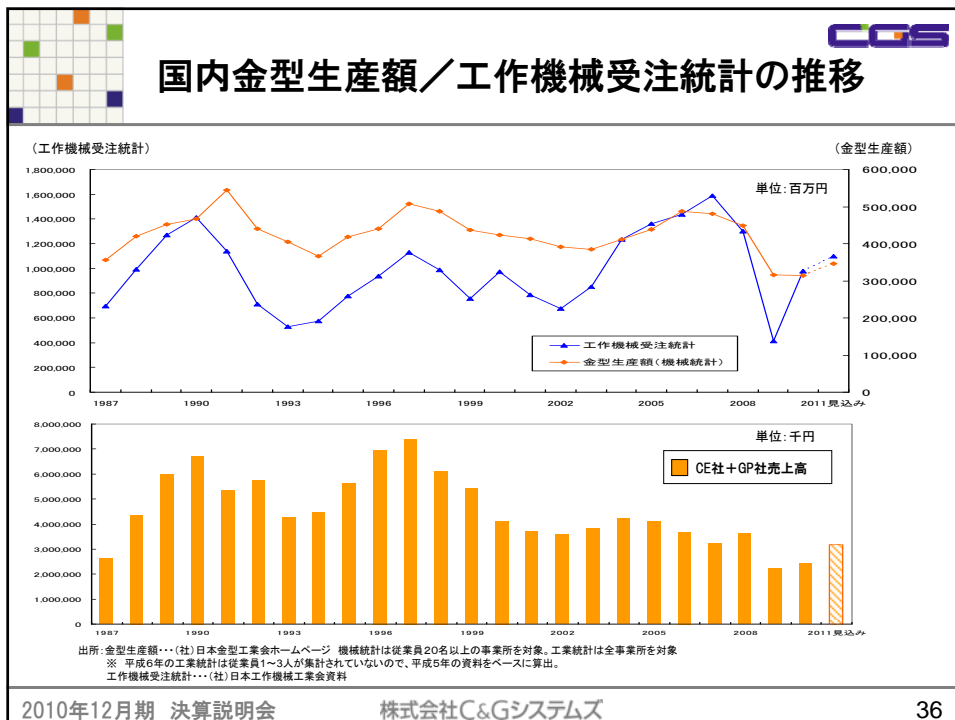
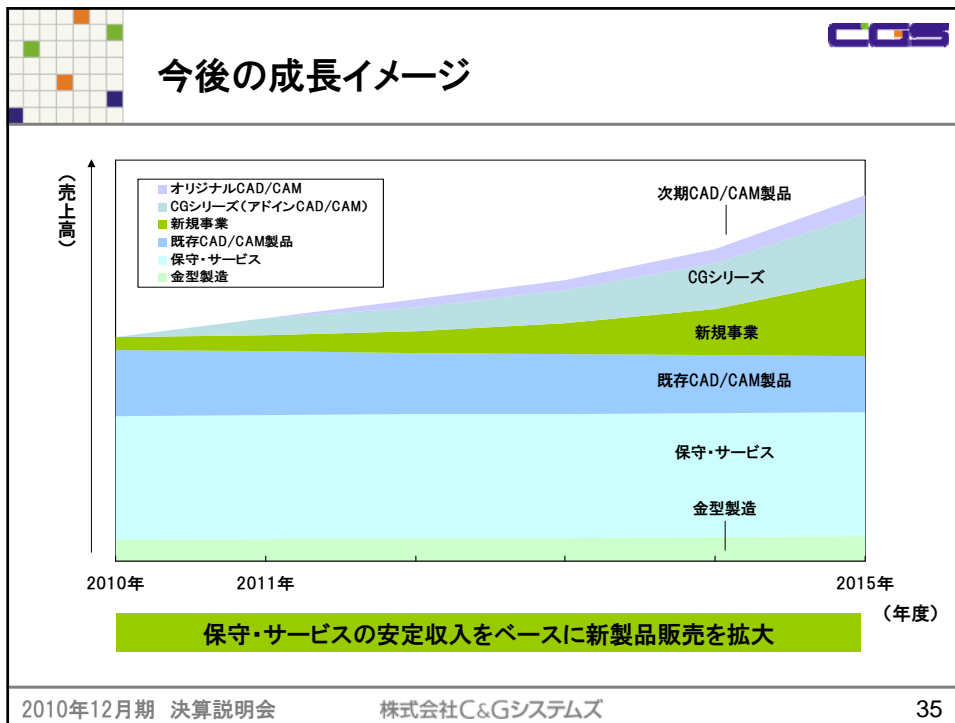
## トピックス:東京本社移転

## 移転先:

天王洲セントラルタワー

- ・ 経費削減効果:年間で**40百万円**  
(2011年度は15百万円)





## 2011年 連結通期業績予想

(単位:百万円)

科目	2010年 連結業績 【実績】	2011年通期 連結業績予想		2011年予想—2010年実績 比較	
		2011年 2月14日 【予想】	構成比	増減額	増減率
売上高	2,792	3,178	100.0%	+385	+13.8%
営業利益	△74	118	3.7%	+192	黒字転換
経常利益	△64	114	3.6%	+179	黒字転換
当期純利益	△92	91	2.9%	+183	黒字転換

アドインCAD/CAM販売開始および海外販売網の拡大により収益を拡大、黒字転換へ


## 連結セグメント売上高予想(会社所在地別)

(単位:百万円)

科目	2010年 通期決算 【実績】	2011年 通期決算 【予想】	2011年予想—2010年実績 比較	
			増減額	増減率
CAD/CAM事業	2,526	2,871	+344	+13.7%
国内(CGS)	2,362	2,673	+311	+13.2%
北米(GP CANADA)	50	68	+17	+34.2%
アジア(GP ASIA)	113	129	+16	+14.4%
金型製造事業	266	307	+41	+15.4%
北米(Tritech LLC)	266	307	+41	+15.4%
合計	2,792	3,178	+385	+13.8%

緩やかに成長

北米経済の回復+  
営業増員新興国経済成長+  
CGシリーズ拡販北米自動車市場の  
回復



**CGS**


## 連結セグメント営業利益予想

(単位:百万円)

科目	2010年 通期決算 【実績】	2011年 通期決算 【予想】	2011年予想—2010年実績 比較	
			増減額	増減率
CAD/CAM事業	303	529	+225	+74%
金型製造事業	9	6	△3	△36.0%
計	313	535	+222	+71.0%
全社または消去	△387	△416	△29	—
合計	△74	118	+192	—

原価率UPを  
想定


2010年12月期 決算説明会      株式会社C&Gシステムズ      39




**CGS**

## 4. 配当および株価について

株式会社C&Gシステムズ



## 配当について



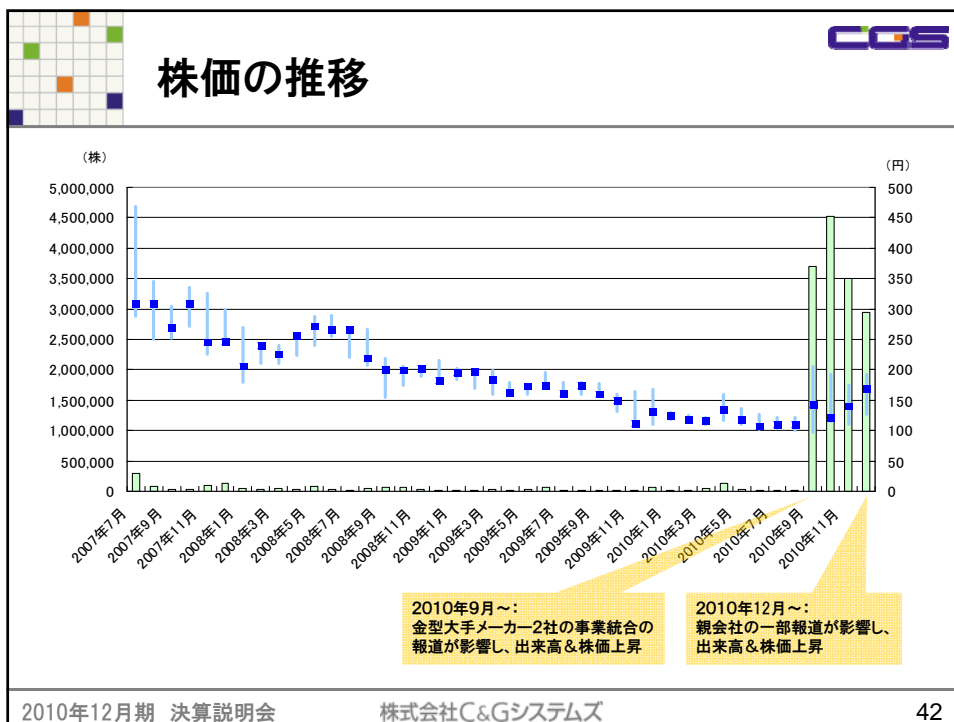
  
  

	2007年 【実績】	2008年 【実績】	2009年 【実績】	2010年 【実績】	2011年 【予想】
第2四半期末	5円※1	5円	0円	0円	0円
期末	5円	5円	0円	0円	0円
その他	10円※2	—	—	—	—

※1 旧上場会社であるグラフィックプロダクツ社による配当  
 ※2 経営統合記念配当

**早期復配に向け、黒字転換に注力**

2010年12月期 決算説明会
株式会社C&Gシステムズ
41





本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、その正確性を保証するものではありません。  
また業績予想は、2011年2月24日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

株式会社C&Gシステムズ 管理統括部 IR室  
Tel:03-5793-8800 E-mail:cgs\_ir@cgsys.co.jp

株式会社C&Gシステムズ